

公益財団法人日本精神衛生会 平成 29 年度事業計画

1. メンタルヘルスの集い(第 32 回日本精神保健会議)の開催

今日の社会が抱えるこころの健康に関するさまざまな問題をテーマに、現状や課題、問題点をあぶり出し、その対策や社会的施策の必要性などを一般市民とともに考えるフォーラムを開催する。平成 30 年(2018 年)は、当会の前身と言える「精神病患者慈善救済会」を創設した東京帝国大学教授 呉秀三氏が、樫田五郎氏とともに「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」(1918 年)を出版して 100 年となることから、今年度のメンタルヘルスの集いを出版 100 周年記念事業とすることとし、本書と呉秀三氏の実績を検証・再評価し、精神科病院及び精神医療のあるべき姿について考え提言する。

日 時：平成 30 年 3 月 3 日(土)(予定)

会 場：有楽町朝日ホール(予定)

テーマ：呉秀三氏の実績の検証・再評価と精神科病院及び精神医療の過去・現在・未来

内 容：呉秀三氏に関する記念講演、精神科病院及び精神医療の過去・現在・未来を考えるシンポジウム

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学・精神保健福祉団体などと共催し、地域が直面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催する。

(1) 第 71 回精神保健シンポジウム(札幌市)

共 催：札幌医科大学医学部神経精神医学講座(河西千秋教授)

日 時：平成 29 年 5 月 13 日(土)

会 場：札幌医科大学講堂

テーマ：自殺予防

(2) 第 72 回精神保健シンポジウム(千葉市・予定)

共 催：千葉大学医学部精神医学教室(伊豫雅臣教授)

日 時：平成 29 年下半年期

会 場：未定

テーマ：未定

3. 広報誌「心と社会」の発行

「メンタルヘルスの集い」「精神保健シンポジウム」の内容を収録するとともに、今日の精神医療・保健・福祉が直面する重要課題を取り上げ、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載して年4回発行する。

(各号A5判130ページ程度)

- ・168号 平成29年6月中旬発行予定
- ・169号 平成29年9月中旬発行予定
- ・170号 平成29年12月中旬発行予定
- ・171号 平成30年3月中旬発行予定

4. 精神保健福祉関係図書・冊子の出版

(1) こころの健康シリーズの発行

現代社会が直面するこころの健康問題を、イラストや図表を交え一般にもわかりやすく解説する小冊子、こころの健康シリーズを発行する。今年度はシリーズⅦとして、「21世紀のメンタルヘルス」のNo.5～No.8を以下の予定で発行する。(各B5判8ページ)発行後はホームページに掲載し、誰でも閲読できるようにする。

- ・No.5 平成29年6月中旬発行予定
- ・No.6 平成29年9月中旬発行予定
- ・No.7 平成29年12月中旬発行予定
- ・No.8 平成30年3月中旬発行予定

(2) 「図説・日本の精神保健運動の歩み2002」の改訂作業

呉秀三氏が樫田五郎氏とともに「精神病者私宅監置ノ実況」(1918年)を出版してから平成30年(2018年)で100年となることから、出版100周年記念事業の一環として、当会が2002年に発行し好評を博した「図説・日本の精神保健運動の歩み2002」の改訂版を平成30年(2018年)に発行する。そのため、本年度よりその編集作業に着手する。

5. 呉秀三氏の実績を紹介し、精神医療・保健の重要性を啓発する映画の製作

「精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」出版100周年記念事業として、呉秀三氏の実績を紹介し、精神医療・保健の重要性を啓発するためのドキュメンタリー映画を、平成30年(2018年)に、きょうされんと共同で製作する。製作には今年度より着手し、映画製作に実績のあるきょうされんが主となり、当会は内容面で関与し費用の一部を負担する。

6. 精神保健福祉団体との提携・協力

日本精神保健福祉連盟、都道府県精神保健協会、WFMMHなど関連諸団体の活動に協力し、併せて情報交換を密接に実施する。